

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toko-toko青木島教室		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童一人ひとりの発達段階に応じた、オーダーメイドのプログラムで、丁寧な個別支援ができています。	・児童の特性を把握し、個別プログラムに反映している ・活動の様子を見て課題や支援を柔軟に調整している ・児童の変化を職員で共有し、次回支援に活かしている	・児童の発達段階に合わせた個別プログラムの質をさらに高めるため、アセスメント方法や支援計画の見直しを定期的に行う体制を強化していく
2	・個別支援のため、感覚刺激にデリケートな児童にも配慮し、安心して取り組める環境づくりができています。	・感覚刺激にデリケートな児童が安心して過ごせるよう、照明・音・座る位置など環境面を調整し、過度な刺激を避ける工夫をしている ・活動内容や道具の選択において、触覚・聴覚などの刺激量を事前に検討し、児童に合わせた無理のない設定を意識している	・感覚刺激にデリケートな児童への支援をより充実させるため、環境調整の工夫や支援ツールの拡充を進め、安心して参加できる場づくりを継続する
3	・保護者との連携が温かく、相談しやすい雰囲気づくりができています	・毎回の支援後に保護者へフィードバックを行い、家庭との連携を密にすることで、支援の一貫性を保つよう意識している ・保護者から伺った「その日の困りごと」や「好きなこと」をリアルタイムに支援へ反映し、児童が安心して取り組める環境づくりを行っている	・保護者との連携をより深めるため、フィードバックの方法や共有内容を見直し、家庭と事業所が一体となって支援できる仕組みを整えていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士が交流できる機会が現在は少なく、つながりづくりの場を設ける余地がある	・保護者同士が顔を合わせる機会が限られており、個別支援が中心であることから、自然な交流が生まれにくい状況がある	・保護者同士が自然に交流できるよう、短時間でも参加しやすいミニイベントや情報交換の場を設けるなど、つながりづくりの機会を意図的に作っていく ・送迎時の時間差が大きいことを踏まえ、掲示物や共有ノートなど、間接的に交流や情報共有が生まれる仕組みを整えていく
2	・地域の行事や活動に参加する機会が限られており、地域との関わりを広げる取り組みが今後の課題となっている	・開所して間もないため、地域の方々や関係機関への周知がまだ十分ではなく、地域行事や活動の情報が届きにくい状況がある ・個別支援が中心で活動場所が分かりにくいこともあり、地域の方に事業所の存在や活動内容が伝わりにくく、交流のきっかけが生まれにくい	・SNSを活用して事業所の活動や雰囲気を発信し、地域への周知を強化する ・案内表示や情報発信を工夫し、事業所の場所や活動内容を分かりやすく伝える ・必要に応じて他事業所と連携し、共同イベントなど地域との接点を増やす
3	・児童の活動の幅は広がってきているが、さらに多様な経験を提供できるよう、外部との連携強化が期待される	・個別支援が中心で外部との関わりが生まれにくい ・開所して間もなく、地域や関係機関への周知が十分でない ・活動場所が分かりにくく、地域側から声がかかりにくい	・地域の関係機関や事業所との連携を進め、外部との協働機会を増やしていく ・事業所の活動内容をSNS等で発信し、外部とのつながりを広げるきっかけをつくる